

名峰 霊山 (825m)

東北の秀峰として名高い霊山は、国の史跡及び名勝に指定され、伊達市のシンボルともいえます。山中にはハイキングコースが整備され太平洋を望む大ノロマと気軽なトレッキングを楽しむことができます。春の新緑から夏の深緑へ、そしておすすめは、10月下旬から11月上旬にかけての紅葉の霊山です。霊山は四季折々の表情を見せてくれます。登山家の岩崎元郎氏が新日本百名山の一座に選定するなど低山ながら高い評価を得ています。



新日本百名山

登山家 岩崎元郎

阿武隈山地に散在している山々は、いずれも緑の盛り上がりで親しみやすいが、霊山の趣を異にする。断崖絶壁を連ねた岩山である。岩山のてっぺんに立って足下に広がる森や畑や点在する家々を眺める気分は爽快である。霊山は、山に品格があり、歴史があり、個性がある。いつ登っても楽しい山だ。



■伊達市の概要

伊達市は福島県の北部に位置し、東に阿武隈山系の霊山、西には吾妻連峰、北方には宮城県境の山々が遠望できる福島盆地の中にあります。独眼竜政宗で有名な「伊達氏」発祥の地としても知られています。



東北自動車道 国見IC・福島飯坂IC (約20分)  
 東北新幹線 東京←→福島 (約1時間30分)  
 JR福島駅から阿武隈急行保原駅 (約20分)・梁川駅 (約30分)



福島県伊達市

〒960-0692 福島県伊達市保原町字舟橋180番地  
 ホームページhttp://www.city.date.fukushima.jp/

観光ガイドに関する問い合わせは  
**伊達市 産業部商工観光課**  
 〒960-0792 福島県伊達市梁川町青葉町1番地 (梁川分庁舎)  
 Tel 024-577-3175 Fax 024-577-7236  
 E-mail syoukou@city.date.fukushima.jp

伊達氏発祥の地  
**伊達市**

DATE CITY

伊達市観光ガイド



福島県

観光カレンダー

3月 第1日曜日  
 中旬

つつこ引き祭り  
 まゆ手工芸品展示発表会

4月 中旬

紅屋峠千本桜まつり  
 茶臼山さくらまつり  
 ほばらのニットパースデーフェア  
 伊達のふる里桜まつり  
 高子二十境ウォーク・ショー  
 春ニットフェアとうまいものまつり  
 こどもフェスタ森林公園春まつり

春

下旬  
 29日  
 29・30日

霊山山開き  
 霊山神社春季例大祭  
 愛宕神社例大祭

5月 月上旬

ほばらふる里まつり in AKASAKA  
 保原神明市  
 掛田八幡苗木市

6月 月上旬

ほばらフリーマーケット

7月 月上旬  
 下旬

山舟生あじさい祭り  
 つきだてリリーフェスタ  
 長岡天王祭

夏

8月 月上旬

霊山太鼓まつり  
 ころんしょ桃の市 & 桃狩り体験  
 ほばらサマーフェスティバル  
 小手姫の里夏まつり「よ市」  
 伊達のふる里夏まつり  
 小手姫の里納涼盆踊り大会  
 小手姫の里夏まつり流灯花火大会  
 伊達ももの里マラソン大会

10月 中旬

神明宮秋祭り山車競演  
 掛田亀岡神社秋季祭礼  
 霊山神社秋季例祭

下旬～11月上旬  
 第4日曜日

秋の霊山物産展  
 三浦弥平杯ロードレース大会

11月 月上旬

やながわふる里の秋まつり  
 小手姫の里秋まつり  
 だてふるさとビッグフェア  
 水雲神社例大祭  
 羽山神社山車まつり  
 蓮昌寺の十三講会式  
 ほばら産業まつり  
 ほばらのニットサンクスフェア

秋

12月 月上旬

冬ニットフェアとうまいものまつり  
 陣屋通りイルミネーション

冬



愛宕神社例大祭

470年以上にわたり脈々と受け継がれてきた伝統の祭りで、県重要無形民俗文化財の「箱崎の獅子舞」を奉納する。ひょっとこの舞と獅子の舞が合わさったもので、野獣の書を祓ったと伝えられている。30日は、箱崎地区で新築された家や孫が生まれた家、厄年の人のいる家などを練り歩く。



長岡天王祭

毎年7月24日、25日の両日行われる長岡天王祭は「天王さま」の名で親しまれ、熱田神社と八雲神社のご神体をひとつにあわせることから「嫁入り祭」とも呼ばれている。夕暮れ時に、8台の山車が祭り囃子を聴い合う宮入りは庄巻で、県の十大祭礼のひとつに選ばれている。



霊山太鼓まつり

30組100台を超える太鼓が集結。約350年の歴史を持つ霊山太鼓は、短いバチで連打する「曲打ち」と、華麗に舞うバチさばきが特長。総勢700名の打ち手による「同時打ち」は、雷鳴のごとく大地を揺るがす。



伊達のふる里夏まつり

広瀬川親水公園をメイン会場に、花火大会や灯ろう流し、魚つかみ、夜店、ヨサコイ踊り、オラトリオ、やながわ踊り、火振り山の火まつりなどが開催され、一日中家族連れで楽しむことができる。



つたりのたのふとてあ。

され現在に至るまで、その趣は中世にタイムスリップしたかのようである。成まで約3年かかったという。本殿は1745年に改築。羽州から300人、合わせて700人の大工が集まり、寛永年中(1171～1175)の再建には、奥州から400人、梁川(福神)は、社伝によれば平安中期の創建で、奥安の仙台亀岡(福宮)である。亀岡(福宮)は、17代政宗の時に仙台城下へ遷宮、現在当地であると伝えられている。また、政宗13歳の時、三春から婆姫を迎え入れたのも、天正10年(1582)陣出の際に戦勝祈願を行っていた。伊達氏ゆかりの神社として知られ、第17代伊達政宗も、城築の際に梁川(福)に合祀された。

福宮は、伊達氏の本地地が変化したに遷宮され、梁川(福)に合祀された。伊達氏の祖、朝宗が高子ヶ岡に勧請したとされる亀岡(福宮)に合祀された。伊達氏ゆかりの神社として知られ、第17代伊達政宗も、城築の際に梁川(福)に合祀された。



11世紀 梁川(福)神社



兵は2万騎と太平記に記されている。

伊達行朝らに従って霊山を築き、再び上洛、北朝方と激しい戦いを繰り返した。時に伊達行朝が死んだ。伊達行朝は伊達家第15代伊達実宗が居城として築かれた。伊達行朝は伊達地方を本拠として勢力を拡大していった。伊達行朝は伊達家第15代伊達実宗が居城として築かれた。伊達行朝は伊達地方を本拠として勢力を拡大していった。伊達行朝は伊達家第15代伊達実宗が居城として築かれた。伊達行朝は伊達地方を本拠として勢力を拡大していった。

時下って14世紀、霊山は突如として日本史に登場する。伊達氏ゆかりの神社として知られ、第17代伊達政宗も、城築の際に梁川(福)に合祀された。

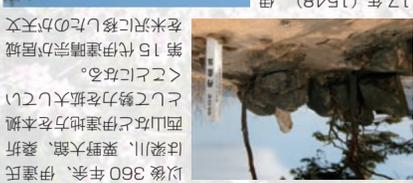


阿武隈急行保原駅のホームに立つ阿武隈山系の麓から、後線が目に入る。その最北端に奇岩怪石が連なる特異な山容「霊山」である。霊山は、貞観元年(859)比叡山延慶寺の座主円仁(慈覚大師)の開山と伝えられ、釈迦が修行したインドの霊鷲山になぞらえて命名された。峰々には3,600の僧坊を数え、470年余の間、東北山岳仏教の一中心地として来たという。

11世紀 霊山城・南北朝時代



17年(1548)。伊達政宗は伊達家第17代当主にあたり、仙台城築城が慶長8年(1601)である。



伊達氏ゆかりの神社として知られ、第17代伊達政宗も、城築の際に梁川(福)に合祀された。

阿武隈急行が高子ヶ岡に近づくとき、伊達氏発祥の地、高子(高子)にその名をとどろかせる。阿武隈急行が高子ヶ岡に近づくとき、伊達氏発祥の地、高子(高子)にその名をとどろかせる。阿武隈急行が高子ヶ岡に近づくとき、伊達氏発祥の地、高子(高子)にその名をとどろかせる。

伊達氏発祥の地

伊達氏ゆかりの神社として知られ、第17代伊達政宗も、城築の際に梁川(福)に合祀された。



伊達市の歴史めぐり

